

令和4年夏用



七月九・十日（壬日）
十六・十八日（壬日祝）
十時～十七時
ほおずき籠付き二〇〇〇円
籠なし一〇〇〇円
切り花ほおずき一〇〇〇円
朝顔籠付き二〇〇〇円
夏詣限定御朱印五〇〇円
※コロナ禍の影響で竹かご
在庫少。なくなり次第、鉢
のみで授与。

古来よりほおづきはお盆の花としてお供えされる。日本での一番古い記録をみると古事記の中でヤマタノオロチの瞳が赤いことをほどおづきを用いて表現されてゐる。諸説あるが、炎のようなほおづきの赤い実を提灯に見立てて、お盆に帰つてくるご先祖様の道するべとしてお飾りする。夏の野菜や果物と一緒に神棚や御靈舎へ、我が家のやり方でお盆をお迎え下さい。

夏の風物詩・ほおずき市朝顔市

初詣を自粛された方に、
密を避けて、夏のご参拝をおすすめします。

大晦日に「年越」の大祓をするように、新年から半年後の大祓を経て、過ぎた半年の罪穢れを祓い、無事を感謝するとともにこれから半年のさらなる平安を願うべく、七月一日以降に神社仏閣に詣でる。この新しい習慣が「夏詣——なつもうで」です。

七月一日～八月三十一日の二か月間、下記の通り夏詣を実施。

(★は常設 ●は期間のみ)

- 夏詣限定御朱印
- 痘病除けの茅の輪ぐるり
- 秦野名水のお水取り
- 水みくじ
- ★ストリートピアノ
- 第一回出雲大社相模分祠
写真コンテスト
- 「ほおずき市・朝顔市」
竹灯籠の設置(七月中旬
より八月末頃まで)
- 子どもの為の夏の縁日
(八月七日)
- 八月遅れお盆参り
八月十三日～十六日

- (★は常設 ●は期間のみ)

 - 夏詣限定御朱印
 - 痘病除けの茅の輪くぐり
 - 秦野名水のお水取り
 - 水みくじ
 - ★ストリートピアノ
 - 第一回出雲大社相模分祠
写真コンテスト
 - 「ほおずき市・朝顔市」
竹灯籠の設置(七月中旬
より八月末頃まで)
 - 子どもの為の夏の縁日
(八月七日)
 - 八月遅れお盆参り
八月十三日～十六日



令和4年6月

発行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL:0463-81-1122
メール info@izumosan.com
編集兼発行人
副分祠長 草山和泉
季刊毎年 2回発行
<https://www.izumosan.com/>



令和四年四月九・十日、境内で秦野元氣まつり―春の陣―が開催。桜舞い散る中、約五十チーム・千人以上の踊り手がよさこいの秦納演舞を披露した。当日はプロのアーティストも参加し、邪氣を吹き飛ばす元気な歌声が鳴り響いた。

よさいじこ ハンチースト
優勝 dance company
REIKA 組 (東京)
準優勝 躍動 (相模原)
第三位 高知県よさいじこ
ンバサダー絆国際チーム
(地球)
出雲大社相模分祠特別賞
旗士道 (横浜)

秦野元気まつり2022
春の陣 よさこいを奉納

出雲大社相模分祠では後世に素晴らしい日本を引き継ぐため、森づくりをはじめ、様々な視点で環境対策に取り組んでいます。令和四年春 燃料電池自動車「MIRAi」を導入。水素と空気中の酸素を使って、電気を作り動く水素自動車は、走る時に二酸化炭素(CO_2)は出さず、発生するのは水だけ。また、電気を作る為に吸いこんだ空気をよりきれいにして大気中に戻します。

SDGsへの取り組み



◆ 每月一日 十時三十分
出雲大社相模分祠月次祭
(参列自由・予約不要)

◆ 毎月第一日曜日十五時
祖靈社・月次祭
(みたまつり)
(参列自由・予約不要)

◆ 月毎の祭典
(春の陣) よさこい

◆ 秦野元氣祭り
(春の陣) よさこい

◆ 四月上旬
さくらまつり

十二月三十日年越の大祓
七五三・菊花展
《令和五年》
一月一日 元旦・節分まで
初詣・ダイコク市・竹
トアップ
二月三日 灯籠・ぼんぼり・ライ
二月四日 (立春・下旬)
節分祭
梅祭り
二月十一日 紀元祭
二月十七日 祈年祭
二月二十三日 (三月三日) 三月三日

旧曆十月十日
出雲大社
(島根県)
(新曆十一月三日)

九月二十三日 秋分の日
秋季祖靈大祭（祖靈社）

大屋根改築
受与所

《令和四年神事行事予定》 ※変更の場合もあります